

11.2 研究会報告

第15回宇宙科学シンポジウム (宇宙科学研究所) 1月6日-7日

- (1) 一本 潔¹、渡邊鉄哉¹⁵、草野完也¹⁹、清水敏文³、原弘久¹⁵、坂尾太郎³、末松芳法¹⁵、吉原圭介、勝川行雄¹⁵、他 Solar-C WG
ミッション提案 次期太陽観測衛星「Solar-C」計画
- (2) Anan, T.¹, Nagata, S.¹, Ichimoto, K.¹, Katsukawa, Y.¹⁵, Ishikawa, R.¹⁵, Kubo, M.¹⁵, Hanaoka, Y.¹⁵
Solar-Cによる彩層磁場診断の検討 Examinations into diagnostics of chromospheric magnetic fields with Solar-C (poster)

宇宙ユニットシンポジウム「宇宙にひろがる人類文明の未来 2015」 (京都大学) 1月10日-11日

- (3) 河村聡人¹、小畠拓也、降旗大岳
国際宇宙ステーションリフォーム プランの提案 (ポスター)
- (4) 青木成一郎¹、小山勝二、黒河宏企、柴田一成¹、作花一志、有賀雅夫、梅本万視、岡本佳子、坂田肇、辻井輝幸、蒔田誠
京都千年天文学街道 (ポスター)
- (5) 青木成一郎¹、柴田一成¹、大野照文⁹、黒河宏企、作花一志
京都大学 4次元デジタル宇宙シアター (ポスター)
- (6) 京都大学附属天文台観測グループ (一本潔¹、浅井歩⁶、他)
太陽活動の謎を暴く、新しい「目」 (ポスター)

シンポジウム「太陽地球圏環境予測」—我々が生きる宇宙の理解とその変動に備える 社会のために— (名古屋大学) 1月13日

- (7) 一本 潔¹
太陽嵐の発生機構の解明と予測
- (8) 浅井歩⁶
太陽紫外線変動と気象・気候への影響

Subaru Users Meeting FY2014 (国立天文台三鷹) 1月13日-15日

- (9) 野津湧太¹
High dispersion spectroscopy of solar-type superflare stars

太陽地球系宇宙プラズマにおける重イオンの輸送・加熱・加速過程
(名古屋大学) 1月28日-29日

(10) Anan, T.¹, Ichimoto, K.¹, Hillier, A.²⁶

太陽プロミネンスにおける中性水素とカルシウムイオンのダイナミクス

研究会・古文献の宇宙科学への応用（極地研究所）1月29日

(11) 玉澤春史¹

文献によるオーロラサーベイのデータ公開

太陽研連シンポジウム「サイクル24極大期の太陽活動と太陽研究の将来展望」
(名古屋大学) 2月16日-18日

(12) 一本 潔¹

飛騨天文台活動報告 2014

(13) 上野 悟¹、他

2014年度 京都大学飛騨天文台 共同利用・協同観測概要報告

(14) 上野 悟¹、他

Solar-C と国内地上観測の連携 – 「太陽圏環境変動観測 ネットワーク」を通じた京大・理・附属天文台の役割

(15) 高棹真介¹

太陽観測によって進んだりコネクションの理解

(16) 浅井歩⁶, 清水敏文³, 片岡龍峰¹⁴, Zhang, J.²⁷, Temmer, M., Gopalswamy, N.³⁶

VarSITI-ISEST/MiniMax24 の取り組みと国内の活動状況

(17) 浅井歩⁶, 飯田祐輔³, 下条圭美¹⁵, 原弘久¹⁵, 草野完也¹⁹

スペクトル太陽放射変動の観測研究の現状と課題

(18) Anan, T.¹, Ichimoto, K.¹, Hillier, A.²⁶

プロミネンスにおける中性粒子とカルシウムイオンの速度差の観測

(19) 石井 貴子¹

今太陽活動周期 (Cycle 24) における黒点群とフレア活動

(20) 野津湧太¹

スーパーフレアを起こした太陽型星の高分散分光観測 (ポスター)

平成 26 年度 名古屋大学太陽地球環境研究所研究集会及び

第 263 回生存圏シンポジウム「太陽地球環境データ解析に基づく超高層大気の空間・時間変動の解明」(京都大学) 2 月 19 日–20 日

- (21) 上野悟¹、北井礼三郎²¹、渡邊皓子¹、浅井歩⁶、磯部洋明⁶、新堀淳樹⁷、野津翔太¹¹、野津湧太¹、萩野正興¹⁵、坂上峻仁¹、河瀬哲弥¹¹、塩田大幸¹⁹、柴山拓也¹⁹、森田諭¹⁵

太陽全面彩層画像データを用いた太陽活動長期変動調査–データアーカイブ整備と紫外線長期変動再現の試み

United Nations/Japan Workshop on Space Weather

”Science and Data Products from ISWI Instruments” (Fukuoka) 3 月 2 日–6 日

- (22) S.UeNo¹, K. Shibata¹, A. Asai⁶, M. Yamaguchi¹, H. Watanabe¹, K. Ichimoto¹, S. Nagata¹, G. Kimura¹, Y. Nakatani¹, T.T. Ishii¹, R. Kitai²¹, S. Morita¹⁵, K. Otsuji¹⁵, D.P. Cabezas³⁷, M.V.G. Escate³⁷, J.K. Ishitsuka³⁷, A. Ibrahim³⁰

CHAIN project: Typical Solar Active Phenomena Obtained with CHAIN’s Instruments and a New Solar Station in Saudi Arabia (oral)

- (23) Cabezas, D.P.³⁷, Martmnez, L.M.²⁹, Buleje, Y.J.²⁹, Ishitsuka, J.K.³⁷, Ishitsuka, M.³⁷, Asai, A.⁶, UeNo, S.¹, Ishii, T.T.¹, Kitai, R.²¹, Otsuji, K.¹⁵, Morita, S.¹⁵, Takasao, S.¹, Yoshinaga, Y.¹, Shibata, K.¹

A ”Dandelion” Filament Eruption and Coronal Waves Associated with the 2011 February 16 Solar Flare (poster)

第 20 回天体スペクトル研究会 (岡山県浅口市健康福祉センター) 3 月 8 日–9 日

- (24) 野津湧太¹

スーパーフレアを起こした太陽型星の高分散分光観測

研究会「磁気リコネクション研究の最前線 –太陽・惑星・実験室」(東京大学) 3 月 11 日

- (25) 柴田一成¹

太陽フレアにおける磁気リコネクション (招待講演)

第 9 回星のソムリエの集い (文化パルク城陽) 3 月 15 日–16 日

- (26) 青木成一郎¹

京都大学 4 次元デジタル宇宙シアターと京都千年天文学街道

日本天文学会 2015 年春季年会 (大阪大学) 3 月 18 日-21 日

M 太陽

- (27) 高棹真介¹, Fan, Y.²⁸, Cheung, M.C.M.³², 柴田一成¹
強いねじれを持つキंक不安定な磁束管の浮上過程と光球磁場構造 (M06a)
- (28) 高棹真介¹, 柴田一成¹
フレアの Quasi-periodic pulsation に対する新しい MHD 的なシナリオ (M14b)
- (29) 柴田一成¹, 石井貴子¹, 河村聡人¹, 飛驒 SMART チーム
巨大黒点 12192 はなぜコロナ質量放出を起こさなかったのか? I (M19a)
- (30) 河村聡人¹, 柴田一成¹, 石井貴子¹, 飛驒 SMART チーム
巨大黒点 12192 はなぜコロナ質量放出を起こさなかったのか? II (M20a)
- (31) 浅井歩⁶, 石井貴子¹, 柴田一成¹, Elena G. Kupriyanova
飛驒天文台 SMART で観測された、2013 年 5 月 14 日の巨大フレアに伴う白色光・ $H\alpha$ 線強度の準周期的振動について (M30a)
- (32) 一本潔¹, 原弘久¹⁵, 末松芳法¹⁵, 勝川行雄¹⁵, 清水敏文³, Solar-C ワーキンググループ
Solar-C 光学磁場診断望遠鏡: SUVIT 要求性能と装置設計 (M43a)
- (33) 萩野正興¹, 一本潔¹, 木村剛一¹, 仲谷善一¹, 上野悟¹, 篠田一也¹⁵, 末松芳法¹⁵, 原弘久¹⁵, 清水敏文³, 北井礼三郎²¹
狭帯域チューナブル・フィルターを用いた太陽彩層観測 (M44a)
- (34) Anan, T.¹, Nagata, S.¹, Ichimoto, K.¹, Katsukawa, Y.¹⁵, Ishikawa, R.¹⁵, Kubo, M.¹⁵, Hanaoka, Y.¹⁵
SOLAR-C 彩層磁場診断能力は科学課題解明に十分か? (M45b)
- (35) 永田伸一¹, 阿南徹¹, 上野悟¹, 大辻賢一¹⁵
Ca II K 分光観測によるコロナループ足元の彩層現象の診断 (M56a)
- (36) Anan, T.¹, Ichimoto, K.¹, Hillier, A.²⁶
プロミネンスにおける中性粒子とカルシウムイオンの速度差から明らかにする部分電離プラズマの磁場拡散 (M59a)
- (37) 廣瀬公美¹, 一本潔¹, 浅井歩⁶, 大辻賢一¹⁵, 北井礼三郎²¹, 京都大学 SMART チーム
飛驒天文台 SMART 望遠鏡及び SDO 衛星を用いたフィラメント消失要因の調査 (M60a)

(38) 高橋卓也¹, 柴田一成¹, 水野義之⁵

スーパーフレアに伴うコロナ質量放出と高エネルギー粒子の予測 (M71a)

(39) 玉澤春史¹, 早川尚志¹⁰, 河村聡人¹, 磯部洋明^{6,8}

古文献サーベイによるオーロラ・黒点のデータベース構築 (M74a)

N 恒星

(40) 野津湧太¹, 野津翔太¹¹, 本田敏志²⁰, 前原裕之¹⁷, 柴山拓也¹⁹, 野上大作¹¹, 柴田一成¹

強い X 線放射を示す G 型星の岡山 188cm 望遠鏡を用いた高分散分光観測 (N05a)

Y 天文教育・その他

(41) 玉澤春史¹, 樋本隆太^{8,1}, 河村聡人¹, 磯部洋明^{6,8}

芸術作家は宇宙・天文分野に何を期待したか：天文台での作品制作・展示 (Y30b)

シンポジウム「低頻度大規模災害のリスクマネジメント」(芝浦工業大学) 3 月 26 日

(42) 柴田一成¹

太陽でスーパーフレアは起きるか？(招待講演)

京阪神宇宙惑星研究会 (大阪大学) 4 月 11 日

(43) 柴田一成¹

古事記と宇宙「音楽と宇宙映像の融合の試み」

Space Weather Workshop (Boulder, USA) 4 月 15 日

(44) Shibata, K.¹

Superflares on Solar type Stars and Their Implications on the Possibility of Superflares on the Sun

澤さん退職記念研究会 (名古屋) 4 月 18 日

(45) 柴田一成¹

天文教育と澤さんと麻雀 –私の天文教育・アウトリーチ活動(そして研究)の原点は愛知教育大–

「太陽地球圏環境予測」緊急ワークショップ

—3 月 17 日の宇宙嵐を我々は予測できたか？— (名古屋大学) 4 月 21 日

(46) 浅井歩⁶

2015 年 3 月 15 日イベント —フレアの概要—

The Fourth International Symposium on the Arctic Research (ISAR-4)
(Toyama) 4月27日–30日

- (47) Tanaka Y.¹⁴, Abe S.¹³, Koyama Y.¹², Shinbori A.⁷, Umemura N.¹⁹, Yagi M.¹⁸,
Yatagai A.¹⁹, UeNo S.¹

IUGONET tools for interdisciplinary study on upper atmosphere (poster)

Workshop "Integrated Plasma Modelling of Solar Flares"
(Leiden, Netherland) 5月18日–22日

- (48) Shibata, K.¹

Review of the standard flare model (invited talk)

- (49) Takasao, S.¹, and Shibata, K.¹

Observational study of plasmoids and Numerical study of shocks/waves in flares

IRIS-4 Workshop (Boulder, Colorado, USA) 5月18日–22日

- (50) A. Tei,¹ T. Sakaue¹, A. Asai⁶, T. Kawate³⁸, J. Okamoto¹⁹, S. UeNo¹, K. Ichimoto¹,
K. Shibata¹

Multi-wavelength observation of dynamic response of chromosphere in a flare with
a coordinated observation between Hida, Hinode and IRIS (poster)

日本地球惑星科学連合 2015 年度連合大会 (幕張) 5月24日–28日

P-EM07 Space Weather, Space Climate, and VarSITI

- (51) Shibata, K.¹

Why big sunspot 12192 did not produce CME?

- (52) Tamazawa, H.¹, Hayakawa, H.¹⁰, Kawamura, A. D.¹, Isobe, H.^{6,8},

Open Data of Sunspot and aurora records in the Chinese chronicles: 7th to 13th
century

M-GI37 情報地球惑星科学と大量データ処理

- (53) 田中 良昌¹⁴、新堀 淳樹⁷、阿部 修司¹³、小山 幸伸¹²、梅村 宜生¹⁹、八木 学¹⁸、
上野 悟¹

IUGONET プロジェクトによる超高層大気研究

P-EM10 Study of coupling processes in solar-terrestrial system

- (54) 新堀 淳樹⁷、八木 学¹⁸、田中 良昌¹⁴、梅村 宜生¹⁹、上野 悟¹、小山 幸伸¹²、阿
部 修司¹³、谷田貝 亜紀代¹⁹

IUGONET メタデータデータベース、及び解析ソフトを用いた超高層大気の長期変
動研究

Polarization in the sun (Granada) 5月25日–28日

(55) Ichimoto, K.¹, and International Solar-C Working Group

SUVIT: The Large Aperture Solar Optical Telescope for Solar-C mission (invited)

Flux Emergence Workshop (FEW2015) (Boulder, USA) 6月15日–19日

(56) Takasao, S.¹, Fan, Y.²⁸, Cheung, M.C.M.³², Shibata, K.¹

On the formation of a complex quadrupole active region (oral)

International Workshop on Traditional Science in Asia 2015

(京都大学) 6月17日–19日

(57) Kawamura, A. D.¹, Hayakawa, H.¹⁰, Tamazawa, H.¹, Isobe, H.⁸

Possible methods of ancient sunspot observations; suggested from astronomer's view point

The 26th General Assembly of the International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG) (プラハ・チェコ) 6月22日–7月2日

International Association of Geomagnetism and Aeronomy (IAGA) Symposia A30: Multi-Spectral Studies of Solar Flares

(58) Ayumi Asai⁶

Energy Release Mechanisms of Solar Flares studied by Microwave Emission (invited)

第10回博物科学会 (金沢大学) 6月25日–26日

(59) 廣瀬公美¹, 山下俊介⁹

口頭展示解説ガイドを担当した大学生の学び–「明月記と最新宇宙像」から–

日本天文愛好者連絡会 2015年 年会 in 京都 (京都大学) 6月27日–28日

(60) 青木成一郎¹

京都千年天文学街道 (口頭+ポスター)

International Symposium on Space Technology and Science 30th (Kobe, Japan) 7月4日–7月10日

(61) Sakaue, T.¹, Tamazawa, H.¹, Kawamura, A. D.¹, Nakano, F.⁶

SpaceShip2 Will Change Private Space Industry in Japan (oral)

「オーロラと人間社会の過去・現在・未来」キックオフミーティング
(極地研究所) 7月17日

(62) 玉澤春史¹

近世・近代のオーロラ記述調査の予備検討

京大数理研 RIMS 研究集会「乱流を介在した流体现象の数理」(花山天文台) 7月23日

(63) 柴田一成¹、高棹真介¹

Fractal Reconnection in Solar and Stellar Environments

第45回天文・天体物理若手夏の学校(信州・戸倉上山田温泉) 7月27日-30日

(64) 野津湧太¹

強いX線放射を示す太陽型星の高分散分光観測

(65) 鄭祥子¹

彩層衝撃波のスペクトル観測から迫る太陽フレアのエネルギー解放過程

新学術領域研究「太陽地球圏環境予測」第1回領域会議

(名古屋大学) 7月29日-30日

(66) 浅井歩⁶

A04班・太陽放射変動グループ

Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) (Singapore) 8月2日-7日

(67) Takahashi, T.¹, Shibata, K.¹, Mizuno Y.⁵

Investigation on Coronal Mass Ejection Velocity and High Energy Particle Flux Associated with Solar Super Flare Event (oral)

XXIX International Astronomical Union (IAU) General Assembly

(ホノルル・ハワイ) 8月3日-14日

IAU Symp. S320: Solar and Stellar Flares and Their Effects on Planets

(68) Shibata, K.¹

Solar and Stellar Flares and Their Impact on Planets (plenary talk)

(69) Notsu, Y.¹, Honda, S.²⁰, Maehara, H.¹⁶, Notsu, S.¹¹, Shibayama T.¹⁹, Nogami, D.¹¹, Shibata, K.¹

High dispersion spectroscopy of solar-type superflare stars with Subaru/HDS (oral)

- (70) Maehara, H.¹⁶, Shibayama T.¹⁹, Notsu, Y.¹, Notsu, S.¹¹, Honda, S.²⁰, Nogami, D.¹¹, Shibata, K.¹

Statistical properties of superflares on solar-type stars based on the Kepler 1-min cadence data (oral)

- (71) A. Asai⁶, T. T. Ishii¹, K. Otsuji¹⁵, K. Ichimoto¹, K. Shibata¹

A Real Source of a Stealth CME? Energetics of a Filament Eruption and Giant Arcade Formation

2015 年度岡山 (光赤外) ユーザーズミーティング (国立天文台三鷹) 8 月 17 日–18 日

- (72) 野津湧太¹

強い X 線放射を示す太陽型星の HIDES での高分散分光観測

第 29 回天文教育研究会 天文教育普及研究会年会 (北海道大学) 8 月 19 日–21 日

- (73) 玉澤春史¹

天文・宇宙分野における相互交流を目的としたポスターセッションの実施

柴田先生還暦記念 天体 MHD 研究会 (名古屋大学) 8 月 19 日–21 日

- (74) 柴田一成¹

「柴田一成の宇宙研究」の研究 (退職記念講演の予行演習&そのとき話せないマル秘話)

- (75) 野津湧太¹

太陽型星のスーパーフレアの観測的研究

- (76) 鄭祥子¹

彩層ペクトル観測で迫る太陽フレアのエネルギー解放過程

- (77) 柴田一成¹

Closing Comments

天文台アーカイブ報告会 (京大資源アーカイブ、稲盛記念館) 8 月 26 日

- (78) 柴田一成¹

花山天文台の現状と将来

京大防災研究所・研究集会「自然災害科学としての地学教育

—防災・減災知識の普及に向けて」(京大防災研/阿武山観測所) 8 月 29 日–30 日

- (79) 青木成一郎¹

京都大学での 4 次元デジタル宇宙シアター

日本天文学会 2015 年秋季年会 (甲南大学) 9 月 9 日–11 日

M 太陽

- (80) 一本 潔¹、三浦則明⁴、SUVIT 検討チーム
Solar-C 時代の地上大型太陽望遠鏡の精度限界と SUVIT (M02a)
- (81) 下条圭美¹⁵、南谷哲宏¹⁵、斎藤正雄¹⁵、岩井一正、浅井歩⁶、野澤恵²
過去半世紀にわたる太陽マイクロ波スペクトルの変動 (M03a)
- (82) Anan, T.¹, Ichimoto, K.¹, Hillier, A.²⁶
プロミネンスにおける中性粒子とカルシウムイオンの速度差から明らかにする部分電離プラズマの磁場拡散 2 (M12b)
- (83) 永田伸一¹、阿南徹¹、上野悟¹、大辻賢一¹⁵
Ca II K 分光観測によるコロナループ足元の彩層現象の診断 II (M18c)
- (84) Anan, T.¹, Ichimoto, K.¹, Nagata, S.¹,
IRIS 衛星 Mg II h/k 線観測で明らかにするスピキュール発生源 (M31a)
- (85) 鄭祥子¹、坂上峻仁¹、浅井歩⁶、上野悟¹、一本 潔¹、柴田一成¹、川手朋子³⁸、岡本丈典¹⁹
彩層分光観測から迫る太陽フレアのエネルギー解放過程 (M33a)
- (86) 坂上峻仁¹、鄭祥子¹、浅井歩⁶、上野悟¹、一本 潔¹、柴田一成¹
磁場がサージを加速するメカニズムについての観測的検証 (M34a)
- (87) 廣瀬公美¹、一本 潔¹、浅井歩⁶、大辻賢一¹⁵、北井礼三郎²¹、京都大学 SMART チーム
飛騨天文台 SMART 望遠鏡を用いたフィラメント消失についての調査 (M38a)
- (88) 佐野聖典¹、阿南 徹¹、一本 潔¹、上野 悟¹
飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡を用いた多波長偏光分光観測によるプロミネンスの磁場診断 (M39a)
- (89) 石井 貴子¹、一本 潔¹、仲谷 善一¹、浅井 歩⁶、川手 朋子³⁸、増田 智¹⁹
京都大学飛騨天文台 SMART/FISCH による 2015 年 5 月 6 日 (日本時間) の白色光フレアの観測 (M40a)
- (90) 高棹真介¹、柴田一成¹
フレアループトップ上空における衝撃波構造とその動的性質 (M45a)
- (91) 西田圭佑¹、浅井歩⁶、柴田一成¹
コロナ中の衝撃波に伴うプロミネンス振動の磁気流体シミュレーション II (M46a)

N 恒星

- (92) 前原裕之¹⁷, 野津湧太¹, 野津翔太¹¹, 野上大作¹¹, 柴田一成¹, 本田敏志²⁰, 柴山拓也¹⁹,

活動的な太陽型星の測光モニター観測 (N09b)

- (93) 本田敏志²⁰, 野津湧太¹, 前原裕之¹⁷, 野津翔太¹¹, 柴山拓也¹⁹, 野上大作¹¹, 柴田一成¹,

スーパーフレア星のリチウム組成 II (N10b)

Y 天文教育・その他

- (94) 玉澤春史¹, 山下俊介⁶, 磯部洋明^{6,8}

多層な参加者の交流促進を目的としたポスターセッションの実践と分析

The 9th Hinode science meeting (Hinode-9) (Belfast, Northern Ireland) 9月14日–18日

- (95) Takasao, S.¹, and Shibata, K.¹

Above-the-loop-top oscillation: a new picture of solar flare (oral)

- (96) Anan, T.¹, Ichimoto, K.¹, Hillier, A.²⁶

Decoupling of neutral hydrogen from plasma in a solar prominence (poster)

小研究会「発展途上国における宇宙科学・教育支援」(京都大学) 9月16日

- (97) 上野 悟¹

CHAIN プロジェクトによる科学研究と発展途上国支援

オープンサイエンスデータ推進ワークショップ (京都大学) 9月17日–18日

- (98) 新堀淳樹⁷, 田中良昌¹⁴, 梅村宜生¹⁹, 阿部修司¹³, 小山幸伸¹², 能勢正仁¹², 八木学¹⁸, 上野悟¹, IUGONET プロジェクトチーム

IUGONET データ解析ソフトを利用した太陽地球系結合研究

- (99) 梅村宜生¹⁹, 田中良昌¹⁴, 阿部修司¹³, 小山幸伸¹², 能勢正仁¹², 新堀淳樹⁷, 八木学¹⁸, 上野悟¹, IUGONET プロジェクトチーム

IUGONET メタデータ・データベースにおけるメタデータ公開の方法とデータ利用の更なる向上に関する検討

SKA サイエンス会議 (鹿児島大学) 9月18日

- (100) 柴田一成¹

太陽・恒星フレアの物理 (招待講演)

Solar-C Science Meeting (Queens Univ. Belfast) 9月18日

(101) K. Ichimoto¹ & SUVIT Team

Points of discussion toward the revised proposal of SUVIT

International Symposium on the NAOJ Museum (国立天文台) 9月27日

(102) Shibata, K.¹

Future Plan of Kyoto/Kwasan Observatory Museum (invited talk)

SCOSTEP-WDS Workshop "Global Data Activities for the Study of Solar-Terrestrial Variability" (NICT, 東京) 9月28日–30日

(103) Y Tanaka¹⁴, A Kadokura¹⁴, Y Ogawa¹⁴, N Umemura¹⁹, S Abe¹³, Y Koyama¹², A Shinbori⁷, M Yagi¹⁸, S UeNo¹, and M Nose¹²

Upper atmosphere data in the polar region during the March 17-18 and June 22-24, 2015 geomagnetic storms (oral)

(104) T Nakamura¹⁴, Y Tanaka¹⁴, N Umemura¹⁹, S Abe¹³, Y Koyama¹², A Shinbori⁷, M Yagi¹⁸, S UeNo¹, M Nose¹², and IUGONET project team

IUGONET (Inter-university Upper atmosphere Global Observation NETwork) activities (oral)

(105) Y Tanaka¹⁴, Y Miyoshi¹⁹, V Angelopoulos²⁵, A Shinbori⁷, N Umemura¹⁹, S Abe¹³, Y Koyama¹², M Yagi¹⁸, S UeNo¹, T Hori¹⁹, Y Miyashita¹⁹, K Keika¹⁹, M Shoji¹⁹, K Seki¹⁹, T Segawa¹⁹, and I Shinohara³

Application of SPEDAS to VarSITI Program – Introduction of IUGONET and ERG-SC Plugins (oral)

(106) Y Koyama¹², Y Sato¹⁴, S Nakano, M Yagi¹⁸, Y Tanaka¹⁴, S Abe¹³, M Nose¹², K Kurakawa, D Ikeda, N Umemura¹⁹, A Shinbori⁷, S UeNo¹

Development of the JavaFX-based iUgonet Data Analysis Software (JudasFX) (poster)

Coimbra Solar Physics Meeting "Ground-based Solar Observations in the Space Instrumentation Era" (Coimbra, Portugal) 10月5日–9日

(107) UeNo, S.¹, Shibata, K.¹, Ichimoto, K.¹, Nagata, S.¹, Dorotovic, I., Shahamatnia, E., Ribeiro, R.A., Fonseca, J.M.

Roles of Ground-based Solar Observations of Hida Observatory toward the Solar-C Era (poster)

第 59 回宇宙科学技術連合講演会 (かごしま県民交流センター) 10 月 7 日–9 日

A14 宇宙教育, アウトリーチ, 宇宙政策・宇宙法

(108) 玉澤春史¹, 山下俊介⁶, 磯部洋明^{6,8}

様々な背景を持つ人々の古聞を目的にしたポスターセッションの展開

(109) 中野不二男⁶, 玉澤春史¹, 河村聡人¹

独自有人宇宙輸送と障壁

M10

(110) 降旗大岳, 河村聡人¹, 中野不二男⁶, 玉澤春史¹

ISS を継続して活用するために

Workshop on Physics and Diagnostics of Emerging Flux Regions

(国立天文台三鷹) 10 月 15-16 日

(111) A. Tei¹, K. Ichimoto¹, T. Sakaue¹, T. Kawate³⁸, J. Okamoto¹⁹, A. Asai⁶, S. UeNo¹, K. Shibata¹

An Observational Study of Dynamic Response of Chromosphere in a Solar Flare (oral)

(112) Takasao, S.¹, Fan, Y.²⁸, Cheung, M.C.M.³², Shibata, K.¹

Numerical study on the formation of the flare-productive active regions (oral)

地球電磁気・地球惑星圏学会 2015 年秋学会 (東京大学) 10 月 31 日–11 月 3 日

R010 宇宙天気・宇宙気候観測・シミュレーション, その融合

(113) 早川尚志¹⁰, 玉澤春史¹

The medieval maximum recorded in historical documents

K2 (Kepler's Second Mission) Science Conference

(Santa Barbara, CA, USA) 11 月 2 日–5 日

(114) Notsu, Y.¹

High dispersion spectroscopy of solar-type superflare stars with Subaru/HDS (poster)

The 3rd Asian Pacific Solar Physics Meeting (APSPM 2015)

(Seoul Univ. 韓国) 11 月 3 日–6 日

(115) Shibata, K.¹

Stellar Superflares (invited talk)

(116) Ichimoto, K.¹ & Hida Observatory Team

Recent Development of Solar Observing Instrumentation at Hida Observatory

第5回極端宇宙天気研究会 (名古屋大学) 11月11日-12日

(117) 早川尚志¹⁰, 玉澤春史¹, 河村聡人¹, 磯部洋明^{6,8}

775年及び994年の極端宇宙天気現象に纏わる同時代史料とその考察

(118) 河村聡人¹, 早川尚志¹⁰, 玉澤春史¹, 磯部洋明^{6,8}

清代におけるオーロラ記録の統計的傾向とその内容

WINERED(近赤外高分散分光) グループセミナー (京都産業大学) 11月13日

(119) 野津湧太¹

これまでのスーパーフレア研究と今後の計画

第6回極域科学シンポジウム (極地研究所) 11月16日-19日

OS 宙空圏

(120) 早川尚志¹⁰, 玉澤春史¹, 片岡龍峰¹⁴, 磯部洋明^{6,8}

A new auroral candidate in 775 in Japanese historical source (invited)

(121) 岩橋清美²⁴, 山本和明²⁴, 磯部洋明^{6,8}, 寺島恒世²⁴, 玉澤春史¹, 片岡龍峰¹⁴

SEKKI phenomena on September 17, 1770 (poster)

近赤外高分散分光研究会：地球型惑星探索と広がるサイエンス

(国立天文台三鷹) 11月24日-26日

(122) 野津湧太¹

低温度星での恒星フレアの統計的研究と、近赤外高分散分光への期待

ESWW(European Space Weather Week)12 (Ostend, Belgium) 11月26日

(123) Shibata, K.¹

Superflares on Solar type Stars and Their Implications on the Possibility of Superflares on the Sun (invited talk)

TESS と地上望遠鏡等との連携で広がる多様なサイエンス

(国立天文台三鷹) 11月26日-27日

(124) 野津湧太¹

TESS の測光観測とすばる／京大 3.8m の高分散分光観測で挑む、スーパーフレア研究 (招待講演)

第3回キラル研究会 (京都大学) 11月28日

(125) Anan, T.¹

原子偏向を用いて診断する太陽プラズマ

第2回オープンサイエンスデータ推進ワークショップ—研究データの保存と公開—
(京都大学) 12月7日–8日

- (126) 梅村宜生¹⁹、田中良昌¹⁴、新堀淳樹⁷、阿部修司¹³、能勢正仁¹²、上野悟¹、八木学¹⁸、IUGONET プロジェクトチーム

IUGONET の活動によるデータ公開と利活用の状況の変化

天文教育普及研究会 近畿支部会 (尼崎女性センター・トレビエ) 12月13日

- (127) 玉澤春史¹

異分野連携研究におけるコミュニケーション：『オーロラ 4D プロジェクト』他における実践例

- (128) 青木成一郎¹

京都大学の4次元デジタル宇宙シアターにおけるコラボ

- (129) 河村聡人¹

宇宙×芸術ワークショップ『星を打つ工房』紹介と実施報告

- (130) 鴨部麻衣¹、関智也²³、萩野正興¹⁵、西田圭佑¹、玉澤春史¹、大辻賢一¹、石井貴子¹、野上大作¹¹、柴田一成¹

京都大学花山天文台と京都市教育委員会の連携事業—みんなで作るバタフライダイアグラム—

平成27年度 STE 研究集会「Solar-C 時代（10 ～ 20 年後の太陽研究検討会）」
(名古屋大学) 12月14日–18日

- (131) 高棹真介¹

天文学的・宇宙物理学的視点から太陽フレア研究の今後を考える

- (132) Anan, T.¹

地上観測の現状と将来計画

- (133) Anan, T.¹

地上観測＋可視・近赤多波長同時偏光分光

オーロラ 4D プロジェクト第二回全体会議・ワークショップ
(極地研究所) 12月22日

- (134) 玉澤春史¹

中国文献による赤気研究まとめ

第 28 回理論懇シンポジウム (大阪大学) 12 月 23 日-25 日

(135) 柴田一成¹

太陽・恒星フレアの物理 – 太陽でスーパーフレアは起きるか？ (招待講演)

(136) 高棹真介¹、柴田一成¹

太陽フレアで生じる無数の衝撃波とその重要性